

自己マネジメント研修レポート

平成30年10月30日（火）、採用1～2年目の方を対象に自己マネジメント研修を行い、28名が参加しました。

この研修は栃事研の「研修の体系化」におけるステージ別研修の1つで、経験年数に応じた資質能力を身に付け、力量形成・キャリア形成ができるように研修を行っています。自己マネジメント研修はステージⅠ（基本的力量形成期）にあたり、自己マネジメントの手法を学び、事務職員として必要な資質能力の基盤を養うことを目的としました。

ステージ別研修では、自分で考え、課題を見つけ、学校での実践につなげられるように事前課題→研修→事後課題の流れで研修を行っています。今回の事前課題では、自分の2日分の仕事の内容や時間のメモをとり、それをもとに振り返った感想や気づきを書いてくること、そして現在抱えている悩みや課題を書き出してくることでした。

まず始めに、栃事研活動の概要と「研修の体系化」の取組について説明がありました。参加者は少し緊張した様子でしたが真剣に耳を傾けていました。

まずは緊張をほぐすため、グループ内で自己紹介を行いました。ウォーミングアップで描いた流れ星と木の絵の説明と、学校での自分やマイブームなどを、一人1分30秒で話しました。ウォーミングアップで描いた絵を見せ合うと、いろいろな木や星の絵があり、話はずみました。これから1日を通して話し合いを進めるに当たり、簡単な物事でも人それぞれ捉え方が違うことや、自分の感覚や言葉で話すと相手に違って伝わっている可能性があるということを実感していただきました。



その後、マネジメントの定義やPDCAサイクルについての講話のあと、グループごとに簡単なケースから具体的に計画（P）を考えるワークを行いました。テーマは事務職員なら一度は考えるであろう「プリンタインクの管理」です。まず、思いつく問題をふせんに書いて模造紙に貼りながら話し合いました。次に、問題から課題を洗い出し、解決策を考え、さらに具体的な計画を立てていきました。どのグループも様々な意見が出ており、「目を引くポップを作って職員に在庫管理の周知をしつつ、インクが最後の1つになったらそのポップを事務職員に持ってきてもらうようにしたらどうか」など、面白いアイデアもありました。その後、実行（D）評価（C）改善（A）について具体的な例をとりながら説明がありました。行動したら振り返り、やりっぱなしにしないことが、次のステップにつながることを学びました。

午後は、事前課題で書いてきた2日分の仕事の記録から気付いたこと、課題だと思ったことをグループで共有しました。同じ学校事務職員でも地域・学校・校種・校務分掌などにより、同じ業務でも仕事全体に占めるウェイトが異なることや、自分の仕事に係る時間

や周りとの関わりについて振り返ることができたようです。

次に、自己マネジメントについての講義を行いました。自分の立場と職場の特性を知り、どんなことができるのか、仕事を進める上で知っておきたい自分「強みを知る」「タイプを知る（読んで理解するか・聞いて理解するか）」「価値あることは何かを知る」「得るべきところを知る」について説明がありました。そして、その上で意識すべき4つのポイント、「仕事の管理（タスクマネジメント）」「時間の管理（タイムマネジメント）」「心身の管理（コンディショニングマネジメント）」「最適な協働関係（コラボレーションマネジメント）」について話があり、これらのサイクルを上手く調整していくことが重要だという説明がありました。そして、「これをやるぞ！」という決意をもち、仕事を進めていく上で過程が大切だというお話がありました。



続いてのグループワークでは、まず、現在自分の抱えている悩みや課題を共有し、その解決策について考えました。自分・自校での悩みや課題なので、具体的な話が挙がりました。「自分と同じ悩みを他の人も悩んでいた」、「色々な悩みを一緒に考えることができた」という感想から、共感や安心感にもつながっていたようです。

先輩事務職員の発表では、採用1年目の悩み、それを解決するために実行した様々な工夫、そして異動を経験して感じたことなどについて話がありました。そして、自分の目指す事務職員像、受講者に向けてリフレッシュすることの大切について話してくださいました。経験に基づいた具体例を基に発表してくださいましたので、受講者にとって課題解決の様々なヒントをもらっただけでなく、数年後の自分をイメージすることができたようでした。

休憩をはさみ、グループで出た課題の解決策をさらに考えていきました。他のグループの意見も参考にしながら、和気あいあいと話し合っていました。自分では思いつかないアイデアを聞いたり、同じ悩みでも学校による違いを知ったりと、仕事のヒントを様々なところで見つけていたようです。

最後に、各自の課題を解決するために、グループでの意見を参考にしながら、4か月後の目標を立て、実行宣言を作りました。短い時間での作成でしたが、具体的な目標や計画を立てていました。課題を複数の視点で捉え、自分の強みを活かし、いくつかの方法を考えたり、他の人の協力を得たりと、今日の研修を活かして考えをまとめました。

事後課題として、4か月を目安に、それぞれが立てた計画をPDCAサイクルに沿って、実行・評価・改善に取り組みます。参加者の皆様には研修で学んだことを少しでも学校で活かしていただき、一步一步、目指す目標へ向けて進んで行って欲しいと思います。

